

名取市 議会だより

- 目 次 -

- 2～ 8.....一般質問
- 9～ 11.....平成 20年度決算審査
- 12条例・補正予算審議
- 13議案等審議結果
- 14議会諸報告・編集後記

《 9 月 定 例 会 》

平成 21年 9月定例会は、9月 4日から 10月 2日までの 29日間開かれ、平成 20年度歳入・歳出決算認定や人事案件など、追加 議案を含む議案 17件(決算 3件、条例 4件、補正予算 6件、その他 4件)報告事項 3件及び議員提出議案等 4件の計 24件について審議が行われました。

なお、今期定例会においては、13人の議員が一般質問を行うとともに、議案審議では、さまざまな行政課題に対する活発な議論が展開されました。



名取市議会報告会の開催について

去る 7月 24～ 26日の 3日間で第 1回議会報告会を開催しました。多くの方々のご参加、ご意見をいただき、ありがとうございました。皆様からいただいたご意見等につきましては、今後ホームページ等でお知らせの予定です。また、第 2回目の議会報告会を、下記のとおり開催いたします。皆様ぜひご参加ください。(写真は第 1回議会報告会時)

平成 21年度第 2回議会報告会 開始時間はすべて午後 7時からとなります。

【テーマ】 第 1回議会報告会の実施結果について、各地区の課題について

開催日	場 所	担当班	開催日	場 所	担当班
11月 7日(土)	館 腰 公 民 館	1班	11月 14日(土)	愛 島 公 民 館	1班
	関 上 公 民 館	2班		那 智 が 丘 公 民 館	2班
	相 互 台 公 民 館	4班		本 郷 集 会 所	3班
11月 8日(日)	高 館 公 民 館	1班	11月 15日(日)	増 田 公 民 館	2班
	名 取 が 丘 公 民 館	3班		増 田 西 老 人 憩 の 家	3班
	下 増 田 公 民 館	4班		ゆ り が 丘 公 民 館	4班

【班の構成議員】 印は班長

- 1 班： 太田稔郎・沼田喜一郎・人見弘志・丹野政喜・今野栄希・相澤 雅
- 2 班： 郷内良治・森 良二・山田司郎・相澤祐司・高橋和夫・星居敬子
- 3 班： 山田龍太郎・大沼宗彦・菊地 忍・山口 實・下山博嗣・渡邊 武
- 4 班： 小野寺美穂・大沼敏男・高橋史光・橋浦正人・本郷一浩・佐藤賢祐



今野栄希 議員

財源確保について

議員 財源確保についてはさまざまな策が講じられており、その一つにネーミングライツがある。県立公園は「ガス&ライフ」、宮城球場は「クリネックススタジアム」、県民会館は「東京エレクトロンホール宮城」、泉サッカークラブ競技場は「ユアテックスタジアム」など県内

の施設に取り入れられた。そこで、市民体育館及び文化会館のネーミングライツを募集すべき。市長 文化会館は一定の需要が見込めるものと考えられているが、市民体育館については、他自治体の例を見ても需要を見込むことは現時点では難しい。企業側の経営上の理由などによる名称変更や名称によつては施設のイメージが左右されるなど、一定の配慮が必要であることや、安定した財源として見込むことができない課題があり、

導入に当たつての指針を定め、研究を進めたい。議員 広報なとり及び諸封筒に有料広告を導入すべき。市長 導入指針を定め、可能なものから順次導入を図つてまいりたい。議員 公用車にマグネット式有料広告プレートを導入すべき。市長 公用車の有料広告の掲出については、有料広告導入に係る指針を定めながら、早い段階で導入できるように、その判断基準や統一的な手続きについて検討してまいりたい。

その他の一般質問
指定管理者制度の推進
制度の見直し 住民基本台帳カード 放置自転車対策 名取駅西口自転車等駐車場、館腰駅東口・西口自転車等駐車場 インフルエ
ンザ対策 教育関係



▲ 市文化会館

一般質問

市政のことが聞きたい

「一般質問」は市の執行部に対し、政策提言や事務の執行状況についてたずねるものです。

本定例会における、一般質問は、13人の議員から46件94項目の質問があり、9月10日、11日、14日の3日間行われました。

各議員の一般質問の内、1項目を掲載いたしました。なお、掲載項目以外については、その他の一般質問として、項目のみ掲載しております。

今野栄希 議員 P2

・財源確保について

郷内良治 議員 P3

・仙南の首長連携で発展を目指すべき

山田龍太郎 議員 P3

・河川環境の整備について

人見弘志 議員 P4

・市庁舎管理について

相澤 雅 議員 P4

・政権交代による財源の見直し

大沼宗彦 議員 P5

・子どもが楽しく学べる学校に

山口 實 議員 P5

・天災が人災にならない取り組みを

本郷一浩 議員 P6

・市長公用車購入の説明をすべき

菊地 忍 議員 P6

・保育サービスの充実について

小野寺美穂 議員 P7

・ヒブワクチン接種無料化に向けて

星居敬子 議員 P7

・子育て支援について

森 良二 議員 P8

・下水道整備について

橋浦正人 議員 P8

・職員の意識改革について



山田 龍太郎 議員

河川環境の整備について

議員 増田川の増田橋から増田川第二水管橋までを、市民の憩いと潤いの場や自然学習の活動拠点となるよう整備すべき。

市長 平成六年九月の豪雨被害により激甚災害対策特別緊急事業を導入し、改修が完了している。

整備済み河川において、

新規事業を計画することや、市の事業として施設等の整備を実施することは非常に困難である。

しかしながら、県においては住民と一体となって課題解決に取り組む地域協働事業、通称「コラボ事業」を提唱している。

地元からの要望があれば、県に対応を依頼してまいりたい。

議員 増田川を挟んだ飯野坂と本町地区は、アクセス鉄道、大手町下増田線建設に当たり用地買収や移転に協力し、犠牲を強いられた。

高架橋の下の空き地や、用地買収後の残地を緑地公園として整備することや、隣接する増田川を低水路工法で整備し、水の流れを作り、川の生き物と触れ合うことのできる親水公園に整備すべき。

市長 県で進めている大手町下増田線周辺の高架下の利用、その他についてはまだ明確な方針が出ていない。

今後についてはどれだけ地元の皆さんの思いを組み入れていくことができるか、工事の進捗とあわせ検討、協議していきたい。



▶ 増田橋から見た増田川

その他の一般質問
防災対策



郷内 良治 議員

仙南の首長連携で 発展を目指すべき

議員 仙北地域においては、トヨタ自動車関連の企業が進出してきて、同時に道路網等の整備が着実に進められ、仙北地域全体が変貌していると感じる。一人の首長だけではなく、周辺地域の首長が構想を出して連合で国・県等に要請や要望を提出し、実現を図って

いると聞いている。本市を含む仙南地域においても、より一層の発展を目指して住民の福祉向上を図るべきである。

本市がリーダーシップを発揮しながら各市・町の構想を取りまとめ、仙南地域の発展を目指すべき。

市長 県南四市九町の首長による宮城県南サミットを設立し、年二回程度開催している。共通する行政課題をテーマとした研修のほか、毎回、県知事を招いての意見交換を行うなど、各自治体の将来の発展に向けた建

設的な議論の場として大変意義あるものにとらえていく。

本市は仙南地域であると同時に仙台都市圏でもあり、市民の生活圏などを踏まえ広い視野をもって行政運営に取り組んでいく必要があると認識している。

本市を取り巻く圏域全体の発展は、市の発展にも大きな影響を与えるものにとらえている。

今後とも周辺自治体と連携を密に取り組んでまいりたい。



▲ 市庁舎から見た市内の様子

その他の一般質問
農政問題
愛島診療所跡地利用



相澤 雅 議員

政権交代による 財源の見直し

議員 今議会が終了すれば来年度の予算編成になる。新政権の子育て支援や高速道路無料化、高校の実質無償化などの公約は魅力的な政策ではあるが、その財源の捻出には埋蔵金と無駄遣いをなくして、残りは予算の組み替えて賄うという話である。

埋蔵金は仮に存在しても一過性のものである。また無駄がどの程度の額であるのか分からず、予算の組み替えをすることは他に影響やひずみが出てくるものと思われる。市としても数多くの整備計画があるが、今後の交付税等財源の見直しはどのようになると想定しているのか、市長の所見を伺う。市長 政権交代後には、国の平成二十一年度補正予算の一部凍結や、平成二十二年年度予算の概算要求基準を見直す方針であることが新

聞等で報道されている。新政権発足前でもあり、現時点では非常に不透明な状況にある。しかしながら、補正予算の凍結や概算要求基準の見直しの内容によっては、市の財政にも影響を及ぼすことも考えられる。新政権発足後、召集されるであろう臨時国会、あるいは平成二十二年年度予算編成作業の状況を注意深く見守りながら、市の予算執行や新年度予算編成に支障のないよう情報の収集に努めてまいりたい。



人見弘志 議員

市庁舎管理について

議員 市役所には多くの市民が来庁する。また、一人災害が発生した場合は救援の要になる。その市庁舎に耐震不足の箇所があるのはゆゆしきことである。早急に耐震工事をすべき。市長 耐震化工事は耐震補強実施設計をもとに、財源の見直しを考慮しつつ、で

きるだけ早期に施工したい。議員 玄関ロビーは多くの市民が休憩や打ち合わせで利用している。いす・テーブルやテレビを改善すべき。市長 テレビは、地デジ対応のものに更新する。いすとテーブルは、古くなっていることは認めざるを得ないが、利用に支障がないので、いましばらく現状のまま利用していただきたい。議員 現在ある喫煙室をより適切な所に移動すべき。市長 設置場所を模索した当時、たばこを嗜好される方の利便性の確保、また、

排煙性などについて種々の議論を経た上で、現在の場所を選定した経過があり、現在の場所以外に設置できるところはない。移動については、今後の検討課題としたい。議員 省エネ、エコが叫ばれて久しいが、議場の屋上に太陽光発電パネルを設置すべき。市長 太陽光発電システムの導入に関し、市としては積極的な取り組みの方針を持ってはいるが、庁舎については耐力的な点から、耐震補強を優先的に進めたい。



▶開業作業の様子

その他の一般質問
幼稚園と保育所の整備



▶耐震化工事が急がれる市庁舎

その他の一般質問
市営住宅



山口 實 議員

議員 市内全域に甚大な被害をもたらした「未曾有の豪雨」から十五年、行政には天災が人災とならない取り組みが求められる。
本市は、南北にJR東北本線や国道が走り、交通の利便は良好な反面、用排水管が鉄道や国道を横断しなければならず、災害に弱い

天災が人災とならない 取り組みを

「まち」と指摘したい。
被害の「因」とされたJR東北本線横断管整備の見通しをどうとらえているのか。
市長 JR東日本との協議で、横断管の老朽化による陥没等が危惧され、統廃合を進めたいとの回答を受け、地元説明会を開催した。
その後、「中越地震」等の復旧で優先順位が落ち、実施に至らない状況である。
議員 順調に進捗していた工事が、平成十二年度で中断したことは憂慮すべきである。さまざまな事情があつても、被害の要因を真摯

に受け止め、市民の安全・安心」を確保すべき。
地元での説明責任は重く、積極的に取り組むべきで、いまだ進展の見られない状況は納得できない。
地元との約束や整備計画の早期実現を図るため、強力に要請すべき。
市長 地元と調整の上、整備計画となったことから、既設管の統廃合による口径拡張工事は、本市の課題ととらえる。
早期整備に向け、改めてJRに対し、整備を要望したい。



整備が待たれる横断管

その他の一般質問
教育環境の整備
鳥獣被害防止計画



大沼宗彦 議員

子どもが 楽しく学べる学校に

議員 新学習指導要領の本格実施を前に、授業時数が増えている。午前中に五時間授業の学校もあると聞く。
不登校、勉強嫌い、健康を害する子どもになつたら、学力向上どころではない。
学校の実態を把握し、子どもが楽しく学べる学校づくりをすべきである。

教育長 「楽しく学べる学校づくり」は、学校経営上の基本の一つである。
学習指導要領に示された理念、内容を踏まえ、教育目標の具現化とともに取り組むよう指導する。
議員 教頭、教務主任等も授業を分担し、先生方の教材研究や事務処理等の時間を確保すべきである。学校判断に任せないで、会議や事務量等を縮減し、全市での実施を指導すべきである。
教育長 市内小学校五校で教頭、教務主任が時間割に位置づけられた授業を担当

している。できる限り授業を持つよう指導していく。
議員 先生方は、授業と子どもたちの指導に時間を追われている。教材研究や事務整理等は勤務時間内に終わらず、自宅持ち帰り残業」が多くなっている。
一日ドックの健診結果は要観察、要精検がふえている。病休予備軍が多く存在するがどうとらえるか。
教育長 教職員の健康状態を把握し、管理することは教育活動を推進する上で非常に重要なので、今後とも徹底するよう指導していく。



遊具で遊ぶ児童

その他の一般質問
新型インフルエンザ対策
生活保護認定



菊地 忍 議員

保育サービスの 充実について

議員 厚生労働省は地域の
実情に応じ、利用者の立場
に立った取り組みを推進す
るために、保育サービス事
例集を取りまとめた。
事例集には、入所予約制
を導入している東京都品川
区、福井県永平寺町が紹介
されている。
入所予約制とは、保護者

が、子どもの将来の保育所
入所の内定を受けられるよ
うにして、育児休業後に、
円滑に職場復帰できるよう
な環境を整え、安心して子
育てができるようにするも
のである。
また、休日保育事業に取
り組んでいる北海道帯広市
では、公立保育所の保育士
が、施設の枠を超えてシフ
トを組んで、休日、年末年
始の保育を実施している。
本市でも、この事例集を
参考とし保育サービスの充
実を図るべきと考えるがど
うか。

市長 市では、まず待機児
童の解消と病後児保育の実
施に向け取り組んでいきたく
い。
議員 入所予約制は育児休
業の取得を促し、安心して
子育てできるメリットがあ
る。休日保育はニーズが高
いと考えるがどうか。
市長 入所予約制は子育て
支援として有効な手立てで
ある。休日保育のニーズが
あることは承知している。
どうあるべきかを含め検討
したい。



本郷一浩 議員

市長公用車購入の 説明をすべき

議員 六月議会にて国庫支
出金により、ハイブリッド
の公用車四台と市長公用車
の予算が計上された。市長
公用車は日本の最高級車と
いわれるレクサスである。
市長の公約についての一
般質問に対し、市長は、公
人たる市長が黒塗り高級乗
用車に乗ることの是非につ

いて、個人的な公約として
掲げた。私の政治姿勢に合
わない」と答弁し、また乗
れる市長公用車を処分した
はずである。
いま、百年に一度といわ
れる大不況の最中であって、
市民の血税を預かって市政
を運営していく市長が、国
からの補助だからといって
最高級車は許されるのか。
市民にしっかりと説明を
すべきと考えるがどうか。
市長 広報なとり六月号の
市長コラムで、市長公用車
を含めた公用車五台のハイ
ブリッド化について掲載し、

市民の御理解を得たと理解
している。議会においても
予算の承認を得ている。
議員 繰り返すが、市長の
「高級乗用車に乗ることは
私の政治姿勢に合わない」
との考えはどういうことか。
市長 公用車分の予算六百十
四万円はどうなるのか。
市長 三百万円台の車が高
級乗用車という認識を、市
民共通に持っているだろう
か。レクサスの中で一番コ
ンパクトな車を選択した。
この予算は車両代のほか、
諸費用、付属品すべてを含め
て予算を計上している。



▲新しい市長公用車

その他の一般質問
高齢社会を迎えごみ集積
所の増設をすべき
政権交代と市政運営



▶私立認可保育所の建設予定地

その他の一般質問
防災対策
ごみ処理の問題



星居敬子 議員

子育て支援について

議員 離婚等や死別により最近ひとり親家庭が増加している。この方々が一番困ることは、親が病気をした時等の生活である。病気等で家事育児に困った時、生活支援員の派遣をすべきと考えるがどうか。

市長 県内では仙台市と塩竈市が行っており、本市と

してもひとり親家庭の支援の準備が整い次第取り組みたい。

議員 ひとり親家庭の中でも母子家庭には、児童扶養手当や貸付制度、公営住宅の住居の優遇制度等がある。しかし、父子家庭には経済的支援が何もない。残業や出張もしにくい環境であり、収入減になることもある。父子家庭にも母子家庭と同様の経済的支援をすべきと考えるがどうか。



▲ オムツ替え用のベビーベッド



小野寺美穂 議員

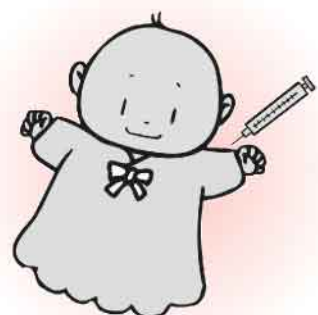
ヒブワクチン接種無料化に向けて

議員 日本は、予防接種後進国である。世界では当たり前の麻疹ワクチンの二回目接種が導入されたのが三年前である。そのために世界からは「麻疹輸出国」とまで非難されていた。

ワクチンは任意接種ではなく定期接種にしなければその感染症は防げない。しかし、副反応による葉書裁判で国が敗訴することを恐れて、「接種しなければ副反応は起きない」ことからワクチン接種で世界に後れをとっている。

議員 任意接種では三万円程かかる。独自の助成制度を設けるべきである。

議員 任意接種では三万円程かかる。独自の助成制度を設けるべきである。



その他の一般質問
産業の活性化 健康支援
防犯問題対策
新型インフルエンザ対策

その他の一般質問
公共交通体系
所得税法第五十六条
住宅リフォーム助成制度



橋浦正人 議員

職員の意識改革について

議員 地方分権の推進や、縦割り行政から住民主導の行政へとシステムの転換が図られた。国・県・市の関係も対等・協力となった。さらに住民サービスの向上に努めるよう職員の意識改革の必要性が浸透した。そこで本市では職員の意識改革をどう考えているか

市長 どのような組織、制度でも常に刷新、改革、改善が求められる。特に、地方分権の進展に伴い、地方自治体を取り巻く環境と職員に求められる資質も変わってきた。これを機会に組織の改革やそのための職員の意識改革は当然必要であると考えている。

議員 分権改革の目的は成熟した社会の創造である。今では分権改革の全体像が見えるようになり、各自治体には速やかで積極的な取り組みが望まれる。この観点から、職員の意識改革の方策を図るべきと考えるがどうか。



森 良二 議員

下水道整備について

議員 昨年四月公共下水道整備計画の見直しがあり早期実現に向けて、施設整備と新たな地区の調査に着手するとの方針が示された。未整備地区は農村地帯が多い。今後十年の年次計画を策定すべき。

市長 これからの事業着手予定地区は対象地区の人口規模や地形など、地理的条件を勘案しながら着手中の地区を優先し、世帯数の多い地区から進める。年次計画は、今後補助事業採択や事業資金の裏付けなどを踏まえ、計画期間内での完了を目指し進める。

議員 市民は公共下水道整備による、快適で衛生的な生活を求めている。しかし、いつ自分の地区の整備環境が整うのか分からないために家屋の建て替えや改修なども計画できず、困惑している。市民が市役所に出向いて初めて整備計画を知ることのないように、普及計画を市民に周知すべき。

その他の一般質問
飼料米転作 市内個人経営業者の入札参加 衛生害虫駆除 広報なとり発行



職員を対象とした研修会

その他の一般質問
財源の確保対策
道路里親制度の導入

平成 20 年度決算に対する総括質疑

新市街地の影響額と合併浄化槽の進捗は

議員 市税増収分のうち、りんくうタウンの影響額は。また、補助対象区域拡大による合併処理浄化槽整備の平成二十年の進捗状況は。

市長 影響額は、個人市民税で約一千二百万円、法人市民税で約七千二百万円、固定資産税の土地分で約六千万円、家屋

農業支援事業について

議員 みやぎの活き活き地域づくり支援事業で行われている、下余田地区の土地基盤整備事業の進捗状況はどうか。

市長 下余田地区においては、昨年四月十日、「下余田地区活性化委員会」を組織し、アンケート調査を実施するなど地域農業の方向性を検討してきた。

自主防災組織について

議員 閉上・下増田地区の沿岸部を中心に防災行政無線が整備された。また閉上公民館グラウンドを会場に自衛隊等との合同防災訓練が実施され、各地区においても訓練が行われている。

災害時に活動を期待されている自主防災組織の、組織率と活動状況や課題は。

地元業者の仕事確保の取り組みは

議員 厳しい経済状況のもとで、地元中小業者の支援は重要な課題で、仕事確保の観点から制限付き一般競争入札の導入による成果と地元業者の工事発注の取り組みと実績について。

市長 平成十九年度に導入した制限付き

創政会 丹野 政 喜議員

分で約一億六千六百万円、都市計画税の土地分で約一千三百万円、家屋分で約三千六百万円のそれぞれ増とらえている。また、平成二十年の合併処理浄化槽設置数は二百三十基で、総設置戸数は六百八十七戸となり、浄化槽区域内の水洗化進捗率は四四・六％となった。

青雲なとり 山田 龍太郎 議員

また圃場整備事業の制度理解を得るため説明会を開催し、県営圃場整備事業導入の前提となる土地改良調査計画事業の平成二十一年度採択に向けた、関係者の合意形成に努め、本年七月三十日に県へ調査事業の委託申し込みを行った。

名瀬クララ 沼田 喜一郎 議員

市長 組織率は、平成二十一年三月末で五二・〇％で六十四組織である。地域内の防災マップ作成や防災訓練の実施等の活動を行いながら、自助、共助の役割に対する防災意識の高揚が図られている。啓発活動を推進しながら組織率の向上を図っていく。

日本共産党 小野寺 美穂 議員

一般競争入札であるが、平成二十年度は、対象金額の引き下げなどを試行し、件数は二十二件で市内企業の受注件数は、八一・八％であった。

指名競争入札では、指名回数全体の九一・二％、受注件数は八九・三％であった。

決算審査

委員会審査 (全体会)

一般会計

歳入

県外滞納整理の 実績について

委員 県外での滞納整理の実績は。
課長 件数は七十六件、滞納額は千三百三十六万八千四百円で、五班編成での訪問、徴収額は九万九千五百円、その後分割などでの納付もあり総額で七十九万三千六百円である。

歳入予算増に伴う 収入未済額の 増加について

委員 新市街地開発による歳入増加の中で収入未済額増加についての考え方は。
課長 昨年から景気後

退が給与所得の減少や製造業・販売業の業績不振に表れ、住宅ローンの滞りや家賃収入減による不動産収入の低下を招き、納税できない方もいる。

文化会館 使用料について

委員 文化会館を予約する際の方法や支払いの猶予などは検討されたのか。
課長 仙台市の学校で主催する合唱コンクールなどの使用で即入金でなく口座振込での対応があった。猶予については検討しなかった。

学校給食費の 収入未済額について

委員 解消の取り組みは。
課長 現年度分は学校側で対応、PTA総会で納入の呼びかけをし、滞納となった場合は学校長名での督促状や電話連絡、家庭訪問や納入相談などを行っている。過年度分は学校教育課で対応、電話や家庭訪問等で納入の働きかけをしている。

分科会審査

第一分科会

一般会計歳出

救急搬送時間

について

委員 現場到着時間と通報から病院到着までの時間は、署長 入電を受けてからの平均で、現場到着が八分、病院収容までは四十一分五十七秒となっている。



▲ 高規格救急車

はしご車の

導入について

委員 市内には、十階建て以上の建物が既に十三棟あり、今後もふえると見られ

る。はしご車なしに本市の消防体制は考えられないのでは。

消防長 長期的には導入の計画はあるが、先に充実しなければならぬ装備がある。

開票時間の

短縮について

委員 市長選挙ではどのような改善がなされたのか。事務局長 開票の迅速化に向けて、開票台のかさ上げや従事者の運動靴ばき、空のイチゴパックを使用し、票の整理に取り組んだ。

また作業前の開票立会人の現場確認の中で流れや仕組みを説明し、迅速な対応をお願いした。

第二分科会

一般会計歳出

要援護者耐震改修

工事助成金について

委員 助成事業に該当する戸数と周知について。課長 耐震改修工事助成金の申し込み時に、避難要援護者の方には、上乘せ制度

を紹介している。昨年度は十件申請があり、うち五件該当した。

年度初めに広報やホームページで周知し、また出前講座でも相談を受けている。

航空機騒音の

解決策について

委員 具体的な騒音軽減策と、住民への説明は。課長 低騒音型機の導入や優先滑走路方式の遵守等はこれまでも申し入れている。

騒音測定場所は、固定局と移動測定、また堀内地区でも騒音測定を実施している。空港施設の見学や地元協議会へも対応を説明を実施している。



▲ 航空機騒音測定器

下水道事業等会計

水洗化の

進捗について

委員 公共下水道区域で、新たに下水道へ接続した件数は。

課長 平成二十年度では、三十九件が接続した。未接続は六百四十六件である。

第三分科会

一般会計歳出

一斉清掃の保険

適用件数について

委員 清掃活動で負傷した時の総合賠償補償保険で平成二十年度中の件数は。課長 負傷した件数は一件で、保険が適用された。

地域職業相談室への

苦情の対応は

委員 相談室へどのような

苦情や要望があつて、どう対応されたか。

係長 自己検索機の待ち時間が長い、駐車場がないなどの苦情がある。

その対応は宮城労働局及びハローワーク仙台に申し入れている。



▶ 名取市地域職業相談室

幼稚園の

入園について

委員 補欠でも入れなかったことをどう考えるのか。課長 定員の範囲内での募集で、若干入れない方がいることは、現実にはやむを得ないと考えている。

反対

均衡ある発展と市民の命を守る市政を 小野寺 美 穂 議員

市土の均衡ある発展という観点からも、道路整備については農道下増田百六十号

線に偏重している。また、本年若干の改善がされたが、定率減税廃止による保育

第四分科会

一般会計歳出

相談支援事業

「窓」について

委員 障がいがある方からの相談内容や運営の実態は。係長 各種サービスを受けるための手続き方法、就労に関する相談が多い。設置場所の利便性の向上について事業所から提言はあったが、具体的な検討はしていない。

妊婦健康診査

について

委員 該当者と受診率のとらえ方は。技術補佐 母子手帳発行数に転入による妊婦健康診査券発行数を加えたものである。六百七十人の該当者に対して六百八人の出生だととらえている。転出等は把握しかねるため、受診率は百割にはなりづらい。

友愛作業所の作業

訓練と工賃について

委員 新たに取り組んだ事業は。また工賃はどつだったのか。

係長 新たに保冷剤清掃及びボール洗浄作業に取り組んだ。月額平均工賃は一人四千七百五十円で、作業人員がふえたため前年比較では減っている。



▶ 名取市友愛作業所

補足説明

決算審査について

決算審査は、決算審査特別委員会及び四分科会を設置し、「一般会計歳入」を全会会で、「一般会計歳出・特別会計・企業等会計」を四分科会で、それぞれ審査を行っています。

平成20年度歳入歳出決算 討論

所使用料の見直しが行われなかったことは、市民にいわれのない負担増を強いいたという点で非常に問題である。

後期高齢者医療制度については、予算編成の時点で指摘したように、反対や廃止を求める世論が大きく広がり、制度廃

賛成 財政運営の確立を

橋浦正人議員

安定した財政運営を行うためには、徹底した歳出の見直しと歳入の確保が不可欠である。当初予算はこの財源で取り組むことになる。

決算に当たって、きめ細かい配慮が随所に見てとることができた点は評価する。また、計上された予算を創意と工夫、努力によって節減をしながら、所期の成

賛成 自主財源の確保に向けて

高橋史光議員

歳入の根幹をなす市税は百五億二千六百二十二万八千円で二年連続の百億円を超える実績となった。

自主財源も市税等の増加により対前年比八・六八%の増となった。主な要因は市民税の個人分・固定資産税などで、新市街地への人口増加等によるものである。しかし、税収の増加と比例し収入未済

賛成 市民負担の公平性を

山口 實議員

厳しい財政事情が背景にある中、変革を求めず堅実に市政運営が実施された。市税収入が前年比四・九五%増加、「まちづくり」の成果が実りつつある。

自主財源の確保や市民負担の公平を期する上から、収入未済額の解消は重要で不納欠損額が件数で五百六十一件、二千八百七十四万円余減少したことは、税の

止に向けて進みつつある。連動して国民健康保険税も大幅な負担増となった。また、何度も指摘しているように国民健康保険制度は、相互扶助の制度ではなく、国の責任によって行われるものである。

果を上げたのなら、批判すべきではないと思料する。

加えて、財政運営の効率化、健全化に注意を払っているのもこの決算である。この認識から、本決算は財政の健全化を図りつつある今日の本市が置かれた状況からすれば、よりよい決算であると評価すべきものと考ええる。

額も増えており、市税で対前年比三五・六二%の大幅増である。

これは中途退職や事業者等の所得減少、さらに急激な経済不況による影響も要因であるが、滞納整理対策本部等の滞納縮減に向けた収納努力を評価しながら、コンビ二収納など納税改革を講ずるべきである。

公平性から評価する。

市独自の交通体系整備を図り一年余、市民の期待も高く、安定的運行継続のため交通弱者の声を大切にしたい。

学校施設は、地域住民の交流の場でもあり、連携を深め合うコミュニティの拠点となる。不備とされる設備の充実を指摘したい。

条例

本会議審議

住民基本台帳カード
利用条例・印鑑条例
の一部改正

住基カードの
利用目的について

議員 自動交付機で利用できる内容は、部長 来年二月一日を目標に、住民票の写しと印鑑登録証明書の交付を考えている。その他のサービスは、戸籍の抄本、謄本、附票の写しを考えている。
議員 窓口での対応は、これまでどおり、住基カードでも印鑑登録証でも、どちらが持参すれば、印鑑登録証明書がとれるのか。
課長 住基カードに印鑑登録証の機能を持たせる場合は、今までの印鑑登録証は返還してもらおう。



▲ 住民基本台帳カード(見本)

委員会審査

民生福祉常任委員会

国民健康保険税
条例の一部改正

出産育児一時金の
差額の支給について

議員 医療機関からの請求額が出産育児一時金の額未満である場合、被保険者への差額の支払い手続きと周知は、課長 退院時に医療機関から費用明細が交付され、差額がある場合は保険者に請求できる旨の説明がある。

補足説明

出産育児一時金の
改正について

緊急の少子化対策の一環で、出産育児一時金が改正され三十八万円に四万円が加算される。平成二十一年十月から平成二十三年三月までの時限措置である。実費が四十二万円未満であれば、請求により被保険者等に差額が支給される。

補正予算

一般会計

歳入

セーフティネット
支援対策等事業費
について

議員 離職等により住居を失った方に市営住宅等の相談や斡旋、あるいは支援金を手当てするのかが、課長 就労意欲及び能力のある離職者に対して、「住宅手当緊急特別対策事業」として、一定の条件のもと、月三万五千円から四万五千円を支給するものである。

地域介護・福祉空間
整備等施設整備交付
金について

議員 事業の経緯と具体的な内容は、課長 平成十八年に発生した認知症高齢者グループホームの火災を機に、消防法施行令が改正され、社会福祉施設にスプリンクラーの設置が義務付けられた。

歳出

市内三箇所のグループホームが対象である。

公園費用対効果分析
委託料について

議員 委託料の内容は、課長 来年度からの、「都市公園の安全安心緊急総合対策支援事業」の調査である。対象は十三塚公園で、投資的効果を客観的に評価する資料とし、既存の遊具の更新時期を過ぎたものや、老朽化しているものの更新に向けた調査である。



▲ 調査対象の十三塚公園

合併処理浄化槽
設置整備事業補助金
について

三人である。うち百九十人が子宮がん検診済みで、自己負担した二百円は各人に通知し、支給する。

不二が丘小学校
屋内運動場の改築
について

議員 新屋内運動場の設置位置は、課長 屋内運動場と一体で耐用年数を越えたプールも改築整備を行う。新屋内運動場は現在のプールの位置に建設して、新屋内運動場に移行後に旧屋内運動場を解体しプールを新設する。



▲ 現在の不二が丘小学校屋内運動場

がん検診
委託料について

議員 人数と周知方法は、所長 子宮がん検診対象者二千三百九十四人、乳がん検診対象者は二千四百八十

◎審議した議案等とその結果

は賛成・×は反対

会議名	提出者	議案等番号	件名	審議結果	議員名(議席番号順)																						
					大沼敏男	大沼宗彦	森良二	山田司郎	菊地忍	高橋史光	沼田喜一郎	人見弘志	相澤祐司	太田稔郎	小野寺美穂	郷内良治	高橋和夫	丹野政喜	橋浦正人	本郷一浩	山口實	山田龍太郎	今野栄希	星居敬子	相澤雅	下山博嗣	渡邊武
平成二十一年第四回例会	市	議案第71号	平成20年度名取市歳入歳出決算の認定について	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第72号	平成20年度名取市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第73号	平成20年度名取市下水道事業等会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第74号	名取市住民基本台帳カード利用条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第75号	名取市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第76号	名取市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第77号	名取市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第78号	平成21年度名取市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第79号	平成21年度名取市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第80号	平成21年度名取市老人保健特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第81号	平成21年度名取市休日夜間急患センター特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第82号	平成21年度名取市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第83号	平成21年度名取市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第84号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第85号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第86号	町の区域をあらたに画することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第87号	名取市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会	会	議会案第13号	所得税法第56条の廃止を求める意見書	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議会案第14号	義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議会案第15号	ヒブワクチンの早期定期予防接種をを求める意見書	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議会案第16号	議員の派遣	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

人権擁護委員 候補者を可決

提案された人権擁護委員候補者の推薦については、九月四日の本会議において、次のとおり原案可決しました。

人権擁護委員候補者

橋浦ふさ江氏(閉上)

足田 運照氏(館腰)

教育委員会委員 の任命に同意

九月十四日に追加提案された教育委員会委員の任命については、九月十六日の本会議において次のとおり同意しました。

教育委員会委員

佐々木靖子氏(閉上)

陳 情

市道耕谷一号线歩道整備に関する陳情

(下増田耕谷区長

渡邊強氏外一名)

市道本村耕谷線舗装工事に関する陳情

(下増田耕谷区長

渡邊強氏外一名)

(渡邊強氏外一名)

市道新町裏線側溝の清掃及び土砂の撤去に関する陳情

(上町町内会会長

橋浦文夫氏外一名)

みやぎ生協閉上店・閉上

駐在所間の排水路ふたかけ整備と道路の拡幅改良

整備に関する陳情

(上町町内会会長

橋浦文夫氏外一名)

市道中荷成田線側溝整備

に関する陳情

(増田下余田北区長

佐藤忠雄氏外一名)

市道佐久間線と県道塩釜

巨理線との早期の交差点

整備並びに同交差点への

信号機の設置についての

陳情

(小塚原北町内会会長

三浦利昭氏)

市道平田橋線の拡幅整備

についての陳情

(小塚原北町内会会長

三浦利昭氏)

市道佐久間線の早急な拡

幅整備についての陳情

(小塚原北町内会会長

三浦利昭氏)

県道閉上港線沢目地区への

横断歩道設置についての

陳情

(小塚原北町内会会長

三浦利昭氏)

支援学校生徒の卒業後の日中活動の場の拡充に関する陳情

(名取市手をつなぐ育成

会会長 下川原佳代子氏)

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

本市議会では、定例会が年に四回(二月・六月・九月・十二月)開催されます。

本会議・各委員会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、市役所議会議棟二階の議事事務局までおいでください。

今期定例会における傍聴者数は延べ
59人
でした。
今後とも、議会の傍聴に足をお運びください。



平成二十一年十一月一日(年四回発行)

9月8日議員協議会 「中心市街地活性化基本計画」 の概要について協議

去る九月八日に、議員協議会において、新たな中心市街地活性化基本計画の概要について、市長等から説明がなされました。新しい基本計画は、名取駅東口周辺の七八ヘクタールを区域とし、「コンパクトに都市機能が集積した魅力ある定住拠点としての中心市街地」、「市民と来街者が集い、ふれあう交流拠点としての中心市街地」、「名取の情報・文化・ビジネスで生み出す賑わい拠点としての中心市街地」を目標として、七月に策定されたものです。詳細な説明の後、議員からは今後の活性化のスケジュールについてや、国の認定を受けることに対する市の考え方について等、多くの発言がなされました。

編 集 後 記

去る七月二十四日から二十六日の三日間にわたり、第一回議会報告会が市内十一会場で行いました。議員全員二十四人を四班に編成し、各会場では市に対する各種意見や叱責、激励やお褒めの言葉など市民皆様のたくさんの生の声をいただきました。

今定例会は九月四日から二十九日間にわたり、

熱心な議論が行われました。特に決算審査特別委員会では四分科会に分かれ、慎重な審議が行われました。議会改革の論議の進むなか、各議員の意識の変化も感じられる定例会でした。

委員 長	菊 地 忍
副委員 長	山 田 司 郎
委 員	大 沼 宗 彦
委 員	森 大 良 二
委 員	高 橋 史 光
委 員	沼 田 喜 一 郎
委 員	人 見 弘 志
委 員	相 澤 祐 司
委 員	山 田 龍 太 郎